

社会への取り組み

日本化薬グループは地域社会の活動に参加し、次世代を担う人材の教育支援やステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを活発に行い、地域に根付いた会社を目指しています。

IBD-INFO 公開

2015年4月、IBDの患者様のための情報提供サイトとしてIBD-INFOを公開しました。

IBDとは炎症性腸疾患（Inflammatory Bowel Disease）のことで、一般的には潰瘍性大腸炎（Ulcerative Colitis）とクローン病（Crohn's Disease）のことをさしています。IBD-INFOでは潰瘍性大腸炎及びクローン病の症状、検査・診断、治療、日常ケアなどについて専門医がわかりやすく解説しています。

患者様の知りたい情報を網羅できるよう、病気の原因や症状、治療方法や日常のケア、また気になる医療費の公費助成についてなどさまざまなコンテンツを掲載しています。また、Dr.コラムとして専門医にIBDの最新の治療やケアについてインタビューした記事も掲載し、定期的に更新しています。

これらのサイトで、疾患に関する理解を深めていただき、正しい知識を持つことで、意欲的に治療に臨んでもらえることを目指しています。

[IBD-INFO](#)



情報サイト「リウマチら・ら・ら」

「リウマチら・ら・ら」はリウマチ患者様のための情報提供サイトとして2015年2月に公開しました。「リウマチ患者様の日常に寄り添い、ここから支える存在になりたい」そんな思いを込めサイトを作成しました。

本サイトの特長は、リウマチ患者様も使いやすい、やさしい（アイコンを大きくタッチしやすい）デザインでスマートフォンにも対応していること。内容面では、患者様が知りたい情報を可能な限り網羅し、リウマチの原因や症状、治療について、気になる医療費やケア、病院検索など様々なコンテンツを掲載しています。

また、リウマチ治療時に利用可能な高額療養費制度についても掲載されており、高額療養費のシミュレーションを行うことも可能です。さらに、リウマチ専門医の監修による「リウマチ体操」動画はリウマチの患者様が好きなときに自宅ですっきり楽しく体操ができます。

“Feeling Happy”とよつ葉のクローバーは日本化薬のイムノロジー（免疫）領域のイメージロゴです。よつ葉のクローバーのように患者様に寄り添い、ここから支える存在になりたい。病気の治療も、より良い日々の暮らしも、あたらしい視点で支えます。患者様、一人ひとりの“Feeling Happy”のために。

[リウマチら・ら・ら](#)



ピンクリボン活動

日本化薬グループでは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるピンクリボン活動を2004年度から独自に開始し、2016年度で13年目となりました。

活動内容は、乳がん関連のウェブサイトの運営・社員の「ピンクリボンバッチ」の着用・「自動車用ステッカー」の貼付・啓発グッズの配布などを行っています。ピンクリボン啓発グッズの配布は本社最寄り駅で例年行ってきましたが、2012年度から全国事業場（（株）日本化薬福山・（株）日本化薬東京・厚狭工場・高崎工場・姫路工場・鹿島工場・東京事業所等）の最寄り駅周辺等で配布



し、乳がん検診の大切さを呼びかけました。

また、2016年度は海外グループ会社KSMでも独自にピンクリボン活動を行いました。



日本化薬グループピンクリボン活動オリジナルキャラクター「Kayami」

▶ [ピンクリボン活動紹介ページ \(乳がんinfoナビ\)](#) ⇨

乳がんinfoナビ

乳がんinfoナビは2006年乳がんの患者様のために情報を提供するサイトとして始まり、2013年10月のピンクリボン月間に、全面リニューアルしました。

乳がんのサイトは世の中に数多く存在する中で、日本化薬らしさをどう出していくかを検討しました。その結果、専門性に特化することとし、乳がんの患者様やそのご家族にとどまらず、すべての女性に専門の医師・薬剤師から確かな情報を提供するサイトとしました。

また、日本化薬グループのピンクリボン活動と連動させ、ピンクリボンキャラクターのKAYAMIを用いたコンテンツを加えました。

乳がんinfoナビは、すべての女性が"キラキラと"輝いて生きることを応援する乳がん情報サイトです。

▶ [乳がんinfoナビ](#) ⇨



Kayaku Safety Systems de Mexico, S.A. de C.V. (KSM) でのピンクリボン活動

KSMは、メキシコにある自動車安全部品を製造しているグループ会社です。

KSMは社員の約半数が女性で、2016年10月に2回目のピンクリボン活動を行いました。

初めに社内の各種メディア（門や社内でのポスター掲示、食堂内のTV、グッズの作成等）を利用してピンクリボン活動について従業員へ伝えました。そして、月例トレーニングでは女性だけでなくすべての男性社員にも教育を実施しました。

トレーニングでは、自分で乳がんを見つける方法やこの知識を家族や友人に伝える方法について教育を行い、トレーニング終了後にピンクリボンのキャンペーングッズ（ペン・腕輪・キャンディー）セットを社員全員に配布しました。



難病とたたかう子どもと家族の滞在施設「あすなろの家」

「難病とたたかう子どもと家族の手助けを」を合言葉に、創立80周年の記念事業の一環として、埼玉県さいたま市に介護者用滞在施設「あすなろの家」を開設し運営しています。この施設では、利用者のプライバシーを守るとともに、闘病生活を送る子どもを持つ親同士が交流を図ることができ、介護者の方の精神的負担を軽減する手助けとなるよう工夫しています。

▶ [「あすなろの家」概要](#) ⇨



原安三郎コレクション『広重』開催

福山市市制施行100周年記念協賛・日本化薬株式会社 創立100周年記念協賛

日本化薬は創立当時より広島県福山市に工場があり、福山市とともに歩んできました。この度、福山市市制施行100周年と日本化薬創立100周年を記念して、原安三郎コレクション『広重』をふくやま美術館において開催しました。

日本化薬三代目社長の原安三郎が蒐集した浮世絵のうち約230点を展示し、2万人を超える多くの地元の方々にご来場いただきました。初摺りで状態の良い浮世絵を間近でご覧いただき、浮世絵という文化に触れていただく機会をつくることができました。

同様の浮世絵展は、日本化薬の工場や支社、グループ会社が所在する地域の5カ所の美術館等で開催しました。

▶ [日本化薬 創立100周年記念サイト](#) [日本化薬と浮世絵](#) ⇨



※原安三郎コレクション：三代目社長の原安三郎は昭和のはじめ、版画、肉筆の浮世絵、水墨画、さらに書に至るまでコレクションしました。版画浮世絵は広重・北斎などの風景画が主ですが、いわゆる「揃い物」が丹念に蒐集されていることが特徴といわれています。

教育CSRへの取り組み

日本化薬は、未来を担う子供たちに化学の面白さを少しでも理解していただけるよう教育CSRとして、「夏休み子ども化学実験ショー（「夢・化学-21」委員会主催）」、「イベント型の実験教室」、「出張授業」の3テーマで活動に取り組んでいます。

2016年度のイベント型の実験教室は、創立100周年記念事業の一環として、各事業場の工場祭などで開催しています。（厚狭、高崎、姫路、鹿島、(株)日本化薬福山、(株)日本化薬東京、東京事業所）

2017年度は、各事業場の近隣小学校を対象に"理科への興味・関心を高めよう"と独自に開発した教育プログラムを使って、「出張授業」を行う予定です。

施設見学型教育CSR

高崎工場 次世代育成の取り組み

創立100周年記念事業として、高崎工場近隣の岩鼻小学校6年生2クラス55名、教諭4名、合計59名を招いて化学実験教室と工場見学を開催しました。

化学実験教室では、『ワクワク製剤体験！～しゅわしゅわ"タブレット"を作ろう～』と題し、水に入れると発泡し色が変わるタブレット作りを通して、医薬品の剤型としてなじみの深い錠剤の製造工程を楽しみながら体験していただきました。小学生たちのタブレット作りに真剣な姿や上手にできた時の無邪気な笑顔を見ることができ、最初は不安な表情をしていたスタッフ達も最後は皆達成感と満足感を味わうことができました。

また、工場見学では、注射剤の製造・包装ラインなど、医薬品ができるまでの一連の製造工程を見ていただきました。後日、参加された生徒さん一人ひとりからお礼のお手紙が届き、多数の方が「化学が好きになりました」という感想が添えられ、当社におけるCSR活動の意義をあらためて認識しました。

今後も、近隣の子どもたちに化学の面白さを理解してもらえるような活動を通し、高崎工場と地域社会との交流を継続していきます。



姫路工場 次世代育成の取り組み

創立100周年記念事業として、姫路工場近隣の豊富小学校6年生対象に教育CSR活動「工場見学」と「しゅわしゅわタブレット作り体験」を開催しました。簡単な火薬についての説明を行い、クイズ形式で問題を出し子どもたち全員が参加できるような体験教室となりました。

普段ではほとんど体験できない「エアバッグ展開」の見学、工場のライン見学を行いました。また、姫路工場で製造しているガス発生剤を模した錠剤を作成して、入浴剤「しゅわしゅわタブレット」作りを体験してもらいました。





イベント型教育CSR

厚狭工場 山陽小野田市主催の「かがく博覧会」 小中学生を対象に「オリジナルキーホルダーづくり」体験を開催

厚狭工場は毎年恒例となっている10月の第一土曜日、山陽小野田市主催の「かがく博覧会」に出展しました。日本化薬のブースではキーホルダーの元となる原盤の上に好きな絵や飾りを載せて、紫外線硬化樹脂で表面を仕上げ、完成させる「オリジナルキーホルダーづくり」の体験してもらっています。



日本化薬東京 「さつき祭り」にて小学生を対象にカラフルなしおりづくり体験を開催

日本化薬東京は主にインクジェットプリンタ用色素の製造を行っています。

2016年5月に開催したさつき祭りにて小学生を対象にまず色の三原色を学習しました。次に、実際に黒色に調整した色素をマゼンタ・シアン・イエローに分離して、カラフルなしおりづくりを体験してもらいました。



高崎工場 近隣住民との交流を深める『ふれあい祭』において 小学校低学年を対象にふしぎ化学実験を開催

高崎工場は、近隣住民の方々との交流を深める場として、毎年5月の第2日曜日（母の日）に企業祭『ふれあい祭』を開催しています。2016年5月8日（日）のふれあい祭では、子どもたちに化学の面白さを少しでも理解してもらうために、小学校低学年を対象とした、「ふしぎ化学実験 ～色のマジックを体験しよう～」万華鏡づくりを行いました。



鹿島工場 茨城県神栖市主催のかみすフェスタ「産業祭」において 小学生の子どもたちを対象に体験型イベントを開催

鹿島工場は、『次世代に化学の面白さを伝える・育てる』ための地域貢献活動を目的として、毎年10月に開催される茨城県神栖市主催のかみすフェスタ「産業祭」に出展しました。

内容は、アグロ研究所や鹿島工場が保有する技術、製品を活かした「〜つぶつぶカプセルをつくってあそぼう〜」です。小学生の子どもたちに「人工クラ」づくりの簡単な化学実験を体験してもらいました。



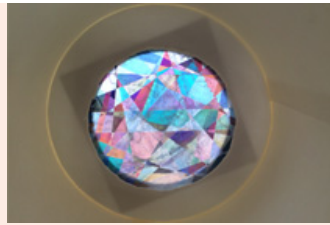
東京事業所 小学校夏休み子ども公開講座の開催

東京事業所は2016年8月26日に近隣のなでしこ小学校の3～6年生を対象とした小学校夏休み公開講座を開催しました。偏光板についての実験と偏光板を用いたオリジナルスタンドグラスの作成を行いました。



ボラテクノ 新潟県上越市の上越科学館にて 偏光フィルムを使った科学工作を開催

ポラテクノのある新潟県上越市の上越科学館では、「人間の科学」と「雪の科学」をテーマに、9つのゾーンで「みて、ふれて、たしかめて」を通し体験して楽しめる展示を行っています。イベントの一つで、2016年の5月に開催した「サイエンスひろば」の「紙コップで万華鏡」ブースに、ポラテクノは自社の偏光フィルムを提供し子どもたちに科学工作を楽しんでもらいました。



[日本化薬](#) [創立100周年記念サイト](#) [教育CSR](#)

LRIへの支援

LRIとはLong-range Research Initiative（長期自主研究）の略で、日米欧の化学産業界（日本化学工業協会、米国化学協議会、欧州化学工業連盟）の協力下で進められている活動です。ICCA（International Council of Chemical Associations）の自主活動のひとつであり、内分泌かく乱作用、神経毒性、化学発がん、免疫毒性、リスク評価の精緻化に焦点をあて、人の健康や環境に及ぼす化学物質の影響に関する研究を長期的に支援しています。

日本化薬グループはこのLRI支援活動が始まった1999年から積極的に賛同し、LRI活動のための資金を出資及び委員会への出席をしています。

[LRI](#)

「あすなろの家」 概要

「あすなろの家」は、小児がんをはじめとする難病の治療や骨髄移植を受けるためなど専門の医療機関に入院・通院している子どもと付き添われる介護者の方に安心して滞在していただける施設です。



この施設では、滞在に必要な設備を備え、利用者のプライバシーを守るとともに、闘病生活を送る子どもを持つ親同士が交流を図ることができるよう共同キッチン、食堂、談話コーナーや子どもたちのプレイルームなどを設け、介護者の方の精神的負担を軽減する手助けとなるよう工夫しています。

所在地

埼玉県さいたま市大宮区北袋町2-336 [地図](#)

交通

JR京浜東北線「与野駅」、「さいたま新都心駅」から徒歩 約15分 / 車 約5分 / 自転車 約8分

※なお、あすなろの家では自転車も用意しております。

JR大宮駅東口またはさいたま新都心駅東口から東武バスで上木崎下車、バス停より徒歩約5分

施設設備

個室10室（和室1、洋室9：内1部屋は車椅子での利用も可能）、共同台所、食堂、談話コーナー、プレイルーム、洗濯室、玄関はオートロックシステムとなっており、滞在者は夜間、休日いつでもご利用できます。

個室設備

全個室にテレビ、バス、トイレ、冷暖房設備、電話、押入、電気ポット完備。

そのほかに、洋室にはベッド2床、テーブル、椅子、クローゼットが、和室にはテーブル、座椅子がそれぞれ設置されております。

※車椅子利用可能な部屋は、若干設備がかわります。

利用料

1日（1室1家族）1,000円。

※貸し布団代（1日100円）、自炊するための食材費、電話通話料は自己負担となります。

予約・お問い合わせ

電話 048-658-5861 ハウスマネージャー 山路

E-mail asunaro@nipponkayaku.co.jp

